

【フレーム切手デザイン】

国民栄誉賞受賞

昭和の大横綱

北海道弟子屈町名誉町民

大鵬

第四十八代横綱

写真協力: 弟子屈町、大鵬企画、ベースボール・マガジン社
 錦絵: 木下大門画

神祕の湖摩周湖

感動パノラマ美幌峠

弟子屈町民

屈斜路湖面の氷の隆起

大鵬相模記念館

大地の鼓動硫黄山

NIPPON 50

NIPPON 50

NIPPON 50

NIPPON 50

NIPPON 50

NIPPON 50

NIPPON 50

NIPPON 50

NIPPON 50

NIPPON 50

- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。
- 写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。

© 藤田静雄株式会社



【参考】

表紙部分は、大鵬の画像および錦絵を選定しています。
 また、切手部分は、大鵬の画像や弟子屈町の風景等を選定しています。

【解説紙デザイン】

本フレーム切手セットは、「解説書」付きです。

ほっかいどう て し かがちょう
北海道弟子屈町名誉町民

昭和の大横綱 大鵬 フレーム切手解説書

大鵬 幸喜 (本名: 納谷 幸喜)

優勝 32 回 (史上最多) 2 度の 6 連覇

通算成績: 872 勝 182 敗 136 休 幕内通算: 746 勝 144 敗 136 休 (幕内勝率 83.8%)

経歴・主な受賞歴

- 1940(昭和15)年 5月29日、旧樺太(現・サハリン)生まれ
1951(昭和26)年 北海道、弟子屈町立川湯小学校へ転入
1952(昭和27)年 北海道、弟子屈町立川湯中学校に入学
1956(昭和31)年 北海道、弟子屈高校(夜学)を中退し、二所ノ関部屋に入門(師匠:大関 佐賀ノ花)
1956(昭和31)年 9月場所 16歳で初土俵
1958(昭和33)年 3月場所で三段目優勝
1959(昭和34)年 四股名を「大鵬」と改め5月場所で新十両
1960(昭和35)年 19歳8ヵ月で新入幕、11月場所で幕内初優勝、場所後、大関昇進とともに当時史上最年少
1961(昭和36)年 7月場所、9月場所と2場所連続優勝して柏戸と共に21歳3ヵ月、当時史上最年少で
第48代横綱になる(入幕から1年10ヵ月)
この間、三賞:敢闘賞2回、技能賞1回、金星1個
1968(昭和43)年 幕内通算勝ち星が史上初の600勝
1969(昭和44)年 紺綬褒章(以後7回飾版を追受)
1970(昭和45)年 日本プロスポーツ大賞
1971(昭和46)年 現役引退、30回優勝を記念して相撲協会より一代年寄り「大鵬」を贈られる
1972(昭和47)年 12月に独立して「大鵬部屋」を設立し、後進の指導にあたる
1976(昭和51)年 財団法人日本相撲協会 役員待遇 審判副部長
1977(昭和52)年 脳梗塞で倒れたが、闘病の末に回復
1978(昭和53)年 財団法人日本相撲協会 理事就任 地方場所部長
1982(昭和57)年 ライオンズクラブ国際協会 人道主義大賞
1984(昭和59)年 川湯相撲記念館(現 大鵬相撲記念館)落成
1991(平成3)年 弟子屈町名誉町民(第1号)
1994(平成6)年 財団法人日本相撲協会 理事教習所長公傷認定委員
1996(平成8)年 財団法人日本相撲協会 役員待遇指導普及部副部長
1996(平成8)年 スポーツ功労者
1997(平成9)年 東京アメリカンクラブ プロスポーツ賞
2000(平成12)年 北海道道民栄誉賞
2004(平成16)年 秋の叙勲 紫綬褒章
2005(平成17)年 財団法人日本相撲協会相撲博物館 館長就任
2005(平成17)年 スポーツ特別賞(北海道新聞社)
2008(平成20)年 財団法人日本相撲協会 退職
2008(平成20)年 東京都江東区初名誉区民
2009(平成21)年 文化功労者
2013(平成25)年 正四位叙位 国民栄誉賞



錦絵: 木下大門画
(相撲錦絵師・弟子屈町出身)

【フレーム切手内の風景写真解説～大鵬のふる里である弟子屈町の風景】 神秘的湖摩周湖、感動パノラマ美幌峠
屈斜路湖面の氷の隆起、大鵬相撲記念館、大地の鼓動硫黄山 ※フレーム切手は日本郵便株式会社の登録商標です。